

■授業の目的

工学部学生を対象にした教職科目です。学校教育における職業指導の在り方や意義を学習し、勤労観や職業観を育む指導法の研究を進める。又、児童生徒に対しての職業理解を図る学習活動指導法や教材開発法を身に付ける。

■授業の到達目標

工学系教員免許取得を目指しており、勤労観・職業観の醸成、キャリア教育や職業教育を進める意義の理解、教材開発法、職業指導の授業実践力の基礎・基本を身につける。工業科教論として教育現場で活用できるようにする。

■授業計画

- 1 教育基本法、学校教育法に示された職業指導の内容や意義を理解する
教育基本法、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領
- 2 青少年就労状況、離職率、求人状況の調査から見えてくる現在の就労環境を調査する
- 3 小学校、中学校が進めている職業指導の実態を調査する
- 4 高等学校学習指導要領に示されている職業指導に関する指導項目を調査する
- 5 勤労観・職業観に関する育成の視点や指導法、その必要性を研究する
- 6 就労に必要な資質、自己教育力の育成に向けた指導法を研究する
- 7 学校教育におけるキャリア教育、社会人として身に付けなければならない資質を研究する
- 8 国際化における就労環境や今後の職業指導の在り方を分析する
- 9 情報社会における産業の多様化や就労形態の変化を解析する
- 10 キャリア教育・職業指導の在り方について（答申）に示された事項を分析する
- 11 職業指導の補助教材としての適性心理検査、SPIの意義とその取扱い法を解析する
- 12 新学習指導要領の導入後の職業指導の授業実践例を示す
- 13 職業への動機付けや職業観形成に向けた職業指導理論を解析する
- 14 児童生徒の職業的自立に向けた職業指導の在り方、実践事例を示す
- 15 今後の「職業指導」が目指す指導内容とその学習の評価を解説する。授業内試験

■授業の方法

授業を基本とするが、職業指導の課題に対する背景や要因について演習やグループ討議を含めた授業展開となる。指導案を作成し、改善指導案の作成法の指導や模擬授業を行う。

■予習・復習

必要に応じ、授業前に資料や補助プリントを配布するので事前に課題を整理しまとめておく。指導案作成については事前に連絡するので、持ち帰り作成をする。日頃から、新聞、雑誌等で職業指導、キャリア教育に関する記事をスクラップしておく。

■成績評価の方法

授業を受けることが前提です。授業内試験（60%）、演習、意識調査、意見書（40%）の割合で評価します。授業中に3回の演習を行います。意識調査、意見書等は授業の終わりに回収します。

■教科書・参考書

必要に応じて授業中に参考書、関連書籍を紹介します。

■関連する科目

職業指導Ⅱ、情報と職業、情報科教育法、技術科教育法